

令和 5 年度

事業報告書

特定非営利活動法人 だーちゃらぼ

1 事業の成果

令和 5 年度は、不登校の子供が利用できるフリースクール運営を中心に置き、下記の通り事業を行った。豊島区近辺在住で CSW や教育センターからの紹介で問い合わせが増加傾向にあり、この地域におけるフリースクールのニーズの高さがうかがえる。

昨年度豊島区から受託している若者等がつくる若者の居場所応援事業の『だちゃカフェ』は今年度も契約が継続され、平日の夕方と月に一度モノ作りができる居場所支援を実施した。

以下、各事業の詳細を報告する。

(1) 子ども若者の居場所作り事業

豊島区にある法人事務所にて、不登校などを理由に日中の居場所を必要とする子どもが利用できるフリースクールを運営した。今年度は 184 日開室し、のべ 418 人を支援した。フリースクールでは学習支援に加え、コミュニケーションスキルの向上を目的としたプログラム、調理、創作など人生を自由に歩むためのスキルを育むために必要な幅広い分野の体験学習を実施した。

豊島区からの受託事業であるだちゃカフェは毎週木曜日と金曜日の 16:00-18:00、第三土曜日はだちゃカフェスペシャルという名で 13:00-15:00 にお菓子作りワークショップを実施した。延べ 146 人が利用した。今年度から平日の夕方の枠での活動の開始となったこともあり、授業終わりの大学生の利用が多くみられた。土曜日のだちゃカフェは社会人や遠方に住んでおり平日の利用が難しい方の利用が多くみられる。継続利用者が非常に多く、利用者にとって居場所的役割を担えたと考えられる。

(2) メンタルヘルスに関わる相談及び検査事業

不登校の子どもを対象としたオンラインカウンセリングや、不登校の子どもを抱える保護者を対象とした個別相談、集団相談会などを実施。延べ 63 名を支援した。

検査事業については希望される方がいなかったため実施しなかった。

(3) 子ども若者のメンタルヘルスに関わる啓発事業

今年度は助成金や区・他団体とのコラボイベントや、子ども支援事業に携わる大学生ボランティアを対象とした研修会など、延べ 87 名を支援した。昨啓発事業の詳細を以下に示す。

- 『桜丘高校キャリア講演会』：高校以来
- 『キッズカフェ体験』：コープみらい助成
- 『豊島区ふくし健康祭り』：豊島区受託
- 『ボランティア研修会』：だーちゃらぼ主催
- 『お寺 de ジャズ』：だーちゃらぼ協力

(4) 外部団体に対する研修講師派遣およびコンサルティング事業

児童発達支援を実施する特定非営利活動法人 ADDS に所属する支援者を対象とした人材育成講座へ講師派遣をし、4 名を支援した。

2 事業の実施に関する事項

(事業費の総費用【6,678】千円)

定款に記載された事業名	事業内容		場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
子ども若者の居場所作り事業	不登校や居場所を必要とする子どもを対象に、週4日程度開室するフリースクールを運営する。	通年	法人事務所	10	心理支援・居場所支援・学習支援を必要としている子ども	490	6,489
	豊島区すずらんスマイルプロジェクトの受託事業として中学生～20代の若者が利用できる『だちゃカフェ』を運営する。	随時	法人事務所	5名	居場所を必要としている中学生～20代の若者	146	
	放課後の子ども若者の居場所として、週2日程度、体験学習教室を開室する。	通年	法人事務所	5	居場所支援・学習支援を必要としている子ども	0	
メンタルヘルスに関わる相談及び検査事業	主にメンタルヘルス支援を要する者に対して、オンラインまたは対面にて、カウンセリングを随時実施する。	通年	法人事務所、オンライン	2	心理支援を必要としている子ども、保護者	63	329
	主にメンタルヘルス支援を要する者に対して、対面にて心理検査を随時実施する。	通年	法人事務所	2	心理支援を必要としている子ども	0	
子ども若者のメンタルヘルスに関わる啓発事業	地域の子どもの若者を対象とした体験イベントや、月1回程度の親の会などの子育て支援、子ども若者支援に携わる人材へのセミナー等啓発事業を実施する。	随時	法人事務所、東京都内、オンライン	5	心理支援を必要とする子どもの保護者	273	174
外部団体に対する研修講師派遣およびコンサルティング事業	子ども若者事業に携わる支援者を対象とした研修及びコンサルティングを随時実施する。	随時	法人事務所、講演先、オンライン	5名	子ども・若者の支援にあたっての団体・個人	4	6